

# 平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から29年3月31日まで

特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所

## 1 事業の成果

### 研究・啓発活動の進展

研究・啓発分野の活動として、研究プロジェクトチームにより調査が進んだ。まだ、会員を幅広く取り込んだ活動にはなっておらず、拡がりを作るところでの課題が生じている。

河北潟研究奨励助成を3件採択した。

### 住民連携の課題（河北潟自然再生協議会の中での活動）

河北潟クリーン作戦の実施主体としての河北潟自然再生協議会の組織力が低下していることに対する取り組みを1年間行ってきたが、未だ自然再生協議会の健全化には課題が残っている。しかしながら、河北潟クリーン作戦実行委員会の発足により、新たなメンバーを加えて第23回クリーン作戦の実施体制を作ることができた。今後、実行委員会参加団体を加えた自然再生協議会の展開が期待される状況となっている。

河北潟自然再生まつりは金沢大学や星稜大学の学生の参加し、実行委員会のうち企画部会を毎週開催し、ポスタ・チラシの他にネット等の宣伝も旺盛に行い、来場はこれまでの約2倍の650名となった。

### 地域連携の拡がりを作る（企業・団体・NPOとの連携の課題）

12月1日の企業との協働のシンポジウムには40名の参加があり、今後の連携に繋がる動きになってきている。河北潟湖沼研究所からはビジョン案を軸とした発表を行った。

クリーン作戦の問題を含め、行政の河北潟問題からの撤退傾向がみられるので、市民・企業セクターから行政を動かすような取り組みの必要となっており、県のアドプト制度や自然再生法に基づく自然再生協議会の発足などの方向も現れてきている。

### 農業分野での活動

「生きもの元気米」を「生きもの農産物」に拡大して1筆のレンコン田との契約をおこなった。今後、この方針を進め、「生きもの元気農産物」を増やしていく。また商標登録も行う予定である。

駅西マルシェについては毎週続けているが、常時参加は2店舗、最大で4店舗であった。

## 自主事業の展開

「生きもの元気米」については、2016年度は5.6トンの取引となっている。年度中には4.2トン190万円を販売した。当初の販売予定ペースからはやや遅れている。

琵琶湖生きもの田んぼ物語推進協議会（事務局滋賀県）26名が、生きもの元気米の視察に訪れた。

販路拡大のためにロハスフェスタ（大阪万博公園）、エコプロダクツ（東京ビックサイト）、アースガーデン冬（代々木公園）、peace on earth（日比谷公園）に出展した。

「すずめ野菜」については65万円の販売となっている。

その他の自主事業としては、パンフレット作成などの実績があるが、収入350万円に対して260万円（うち米の仕入152万円）の人件費を含まない支出となっており採算はとれていない。今後、米を完売すると140万円程度の収益が出る見込みとなっている。

## 流域エコツーリズムの展開

流域管理の視点からの流域での環境保全活動の取り組みを拡げることと、流域での交流を拡げコミュニティによる流域管理手法（流域マネージメント）を確立するためのひとつのツールとして、また当組織の事業展開の可能性として、流域エコツーリズムを提唱し、河北潟と上流域をつなぐ取り組みを開始した。その第1歩として3月にエコツーリズムの専門家を呼んでのセミナーを企画した。

## 雇用の継続

受託事業については、新規の受託事業がなく受託事業での資金獲得が進んでいない。実際には受注しても業務体制においてこなせない状況もあることから現時点での受注に向けた積極的な取り組みは行わなかった。2016年度においては財源上の問題は生じていないが、次年度以降に資金困難に陥る可能性もある。

## クラウドファンディング・寄付

寄付の集め方について、総会で「手始めに野菜や米といった商品が寄付のお礼としてもらえる「寄付セット」を作り、ホームページ上で紹介し、寄付を呼びかける。その他、ホームページを活用した資金獲得の方法を検討する。まずは商品を直接購入できるカートを設置する。」との方針を掲げているが実行できなかった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
研究・広報及び日常活動	河北潟の自然環境等の研究、 広報誌の発行、通信活動等、 研究助成	28年4月～ 29年3月	河北潟及 び周辺	6	全国の研究者、 地域住民等 110万人	822
協働の推進による保全活動	水辺の保全活動、チクゴスズ メノヒエ除草及び水辺管理体制 の確立、学習活動	28年4月～ 98年3月	河北潟	544	農家・住民等 10万人	4,921
こなん水辺公園協働事業	河北潟とこなん水辺公園の自 然について来園者らに解説	28年4月～ 29年3月	金沢市	5	金沢市民その 他 50万人	548
地域連携事業	干拓地における水辺と農地保 全活動	28年4月～ 29年3月	河北潟干 拓地	5	地域住民等 10 万人	2,437
出版販売事業	地域環境保全のための冊子の 普及事業	28年4月～ 29年3月	全国	4	全国のナチュ ラリスト、地 域居保全活動 者 1万人	258
地域循環社会事業	環境保全米、循環型の野菜の 生産拡大	28年4月～ 29年3月	全国	4	地域住民等 10 万人	3,459

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
受託事業	調査受託等	27年4月～ 28年3月	河北潟周辺	4	1,383